

八幡平観光新聞

新型コロナウィルス感染の影響と対応

八幡平市に於ける外国人旅行者の受入れは台湾・中国・豪州の順で推移しています。今回の感染拡大の影響により大幅に減員、エリアにも直接・間接的なダメージが出ており拡大して来ましたが、国内の感染拡大予防も施行され、国内旅行も鈍化、地域内でも「歳祝い」の自粛など、地域経済への影響は拡大しており、開催中の議会でも、国の動きと連動した対応が議論されるようです。

日々に状況が変化してあり、実態の把握や、今後の予測も立っていない状況ではありますが、現場の対策として

- (1)現状への対応
- (2)落ち着く迄の対応
- (3)終息後への対応

●求められる対応策

①に状況が変化してあり、実態の把握や、今後の予測も立っていない状況ではありますが、現場の対策として

●求められる対応策

②落ち着く迄の対応

- 終息迄のスケジュールを仮定して対応！
- このままの動きで考えると、八幡平の前半最大の山となる桜季のツアーの集客状況が芳しくありません。

●観光協議会を設置

今回、東北D.C.への準備作業と同時進行で、今回D.C.についての説明会を行いました。その席でも、八幡平市2月号でご紹介した、スノーリゾート形成事業業であります。前者は夏季/後者は冬季が中心となり、当面の観光戦略の柱となります。双方とも、地域の連携・連動が求められており、加えて新型コロナウイルスへの影響も発生する。この度「八幡平観光協議会」を立上げる方向で進めています。

●観光協議会を設置

去る1月16日、関係に皆さまにお掛けし、今回D.C.についての説明会を行いました。その席でも、八幡平市2月号でご紹介した、スノーリゾート形成事業業であります。前者は夏季/後者は冬季が中心となり、当面の観光戦略の柱となります。双方とも、地域の連携・連動が求められており、加えて新型コロナウイルスへの影響も発生する。この度「八幡平観光協議会」を立上げる方向で進めています。



3/04 八幡平DMO 発行人: 文責 島海良信

もう暫く情報収集が必要と思いますが、密に移動の観光バスが敬遠され付き、海外からの想像が付き、海外からの桜ツアー・国内の東北の桜は厳しい展開が必死となります。

※この状況下では、表立っての営業活動は難しいですが、戦える状況の維持に防衛がポイントと思われま。

※この状況下では、表立っての営業活動は難しいですが、戦える状況の維持に防衛がポイントと思われま。

※この状況下では、表立っての営業活動は難しいですが、戦える状況の維持に防衛がポイントと思われま。

※この状況下では、表立っての営業活動は難しいですが、戦える状況の維持に防衛がポイントと思われま。

※この状況下では、表立っての営業活動は難しいですが、戦える状況の維持に防衛がポイントと思われま。

※この状況下では、表立っての営業活動は難しいですが、戦える状況の維持に防衛がポイントと思われま。

※この状況下では、表立っての営業活動は難しいですが、戦える状況の維持に防衛がポイントと思われま。

(3)終息後への対応

※一番重要なのは終息のタイミングで如何にリストアードするか？

一つにはこれを機に、客層・或いはその比率を変更することも考えなければなりません。

良く在るパターンで言えば、ここで特別料金を出すが、ここですべてをやってしまつて、その料金で定番となり、またまた正価販売が遠くなつてしまふ。

これは知恵の出しようで、2021年の東北D.C.へのアプローチも含め、発足する「観光協議会」の役割となります。

八幡平全体の消費が活性するよう、地元食料や商材の活用助成も有効かも知れません。

この機に八幡平の個性を強くアピールする事で、今後(助成が終了しても)継続・発展出来る、D.C.へ弾みのつく戦略を考えたいものです。

と云うのは、今発生している補助事業は規定により、地域の合意形成が前提となる為、協議会の設置が要求されます。しかし我々の様な小さな街では、出席の顔ぶれが重なることが予想されます。そこで総合的な協議会を立ち上げ、必要に応じて専門部会・座長を設け、官庁との連携・指導もいただきながら進められる様な設計とさせていただきます。

第1回は3月19日に開催の予定です。

第1回は3月19日に開催の予定です。

■八幡平トビックス

全国的な雪不足でスタートした今シーズ、日本海側を中心に積雪不足は続き、海外からのゲストは、雪を求め北へ北へと流れ動いて来たようです。

これ迄地元の競技&基礎系コア層が中心の「下倉」や、松川温泉でも、欧米豪からのゲストをかなり目にする様になって来ましたが、また、今年から本格稼働している大黒森(旧八幡平スキー場)のキャットスキーハも海外からのオフアエリが多くなり『スキーエリ』としての受入れ体制の整備が、益々重要課題となつていきます。

八幡平では、その「極上の雪質特性」により、古くから「スキー」を楽しむ文化が培われました。

これ迄、地元の愛好家のみなさん・エリアのガイドの皆さんとが山の地形・気象を読み、安全を確保しながら、絶妙なバランスで共存し、その文化を継承して来しました。

日本からのスキー人口が減少を続ける中、二セコ皮切りに増大している外国人スキーヤーが求めているのは上質な雪質、特に未圧雪ツアーが人気を集めています。

八幡平では、安比高原がいち早く海外からのゲストの誘致に動き、近年も高性能降雪機など大型投資を実施、八幡平全体としても、前号でお知らせした様に「世界水準のスノーリゾート形成事業」へエリートリリスム方向で動いています。

一方先行する二セコでは、外国人で街が賑わう裏側、不動産・営業権・雇用などの社会的問題、マナー違反による安全の問題、地元元の問題、スキーが出来なくなる、地元生活への影響も発生、オーバーツーリズムが問題となつて来ました。

八幡平では、その「極上の雪質特性」により、古くから「スキー」を楽しむ文化が培われました。

八幡平では、その「極上の雪質特性」により、古くから「スキー」を楽しむ文化が培われました。

今日日本で起きていることの整理

■八幡平のスキー文化

八幡平では、その「極上の雪質特性」により、古くから「スキー」を楽しむ文化が培われました。

■スキー場の救世主?

八幡平では、安比高原がいち早く海外からのゲストの誘致に動き、近年も高性能降雪機など大型投資を実施、八幡平全体としても、前号でお知らせした様に「世界水準のスノーリゾート形成事業」へエリートリリスム方向で動いています。

■スカステイナブル

ツーリズムを目指すバックカントリーハの取組みは、企業主導の外資主導で行わるのが常ですが、八幡平での取組みは地元ガイドのみなさんが主体で、問題意識高く取り組まれている点で、大変貴重なものと言えます。

■大黒森管理協同組合」テイクオフ!

八幡平CATスキーの要請を受け、地元ガイドさんを中心にトライしていただいた旧八幡平スキー場のCAT運行、今シーズンより本格的な営業運行に入るにあたり、「大黒森管理協同組合」が組織されました。

■CAT運行事業

＊ガイドツアー
＊環境整備事業
＊雪観測・安全管理

■環境整備事業

八幡平スキー場から、山山が崩れ、観光客の安全が脅かされる。環境整備事業により、観光客の安全を確保し、観光客の満足度を高める。

■雪観測・安全管理

八幡平スキー場から、山山が崩れ、観光客の安全が脅かされる。雪観測・安全管理により、観光客の安全を確保し、観光客の満足度を高める。

■CAT運行事業

＊ガイドツアー
＊環境整備事業
＊雪観測・安全管理

■環境整備事業

八幡平スキー場から、山山が崩れ、観光客の安全が脅かされる。環境整備事業により、観光客の安全を確保し、観光客の満足度を高める。



特集: 地域誇りを体験してもらおう... ※「大黒森・八幡平の山スキー」を楽しむ!

■サステイナブル

ツーリズムを目指すバックカントリーハの取組みは、企業主導の外資主導で行わるのが常ですが、八幡平での取組みは地元ガイドのみなさんが主体で、問題意識高く取り組まれている点で、大変貴重なものと言えます。

国の観光施策は、訪日外国人へ傾倒していますが、将来的にも重要な市場ではあります。其、地元の誇りを体験・共有していただいで観光は成り立ちます。

「オーバーツーリズム」! 目標の数値化が流行り、最大の化を過ぎてしまいがちですが「持続可能な・最適化」が管理組合さんの理念となっております。

相互理解の為に
夜遅くまで続いた
外国人ガイドとの調整

雪の観測・安全管理事業

環境整備事業

■「これ以上待っては準備が遅れてしまう」

判断から、コロナによる混乱の真つた中ではありますが、このタイミングでキックオフすることをしました。

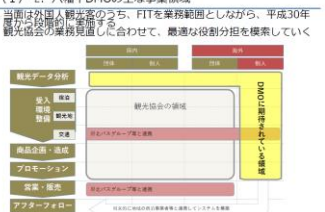
■「言わば「萬協議会」

言頭触れられた様に、この協議会は、東北D.C.に限らず、スノーリゾート形成事業他、直面する様々な観光課題に対応して参ります。

◆現在の状況

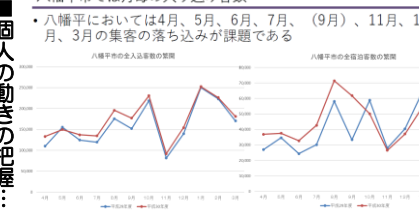
(1)東北D.C.の動き
本来、各市町村から企画エントリーは2~4月の間に受付6月の商品発表と言う話でしたが、未だ受付書式が決まらずに、入手次第発行を致します。

昨年の8月26日、(株)八幡平DMOの活動報告を市役所にてさせて頂きました。



(1)・2. 八幡平DMOの主な事業領域
 ・観光外国人観光客の誘引、FTRを業務範囲としながら、平成30年度は観光振興に力を入れた。
 ・観光振興に力を入れた。
 ・観光振興に力を入れた。

2018〜19年度は国の観光戦略も興味訪日外国人、それも個人旅行IFRの受入れ環境整備商品企画PRに焦点をあてて展開、八幡平市の入込等に関する詳細分析、施策展開は訪日外国人を中心となりました。しかしこの度の感染症によるインパウンドへの影響を考えると、また、2021東北DCも視野に入れた戦略策定する事を考えると、国内は国内で同様な科学的調査を行い、



八幡平市では毎月の入り込み客数
 ・八幡平市においては4月、5月、6月、7月、(9月)、11月、12月、3月の集客の落ち込みが課題である

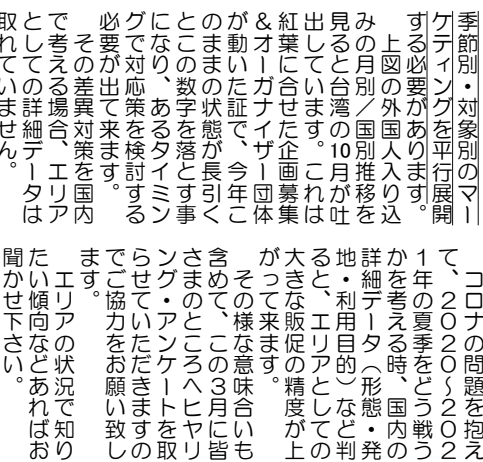
“観光地域づくり” VII 2020年度に向けて・・・

- (1)八幡平市全体の動き
- (2)訪日外国人の動き
- (3)国内マーケットの分析の必要性

左が右が宿泊平成30年の8&9月の宿泊の動きに異変が見えます。国体とかの特需でもありますが、この問題はこれがこの年だけのものか？来年も続くのか？海外の動きを合わせてみる。7&9月に台湾&韓国に伸びがあり要因の一つと思われるが、9月も含めもっと大きな要素があったと推測されます。

コロナの問題を抱え、2020〜2021年の夏季をどう戦うかを考える時、国内の詳細データ(形態・発地・利用目的)などがあると、エリアとしての大きな販促の精度が上がって来ます。その様な意味合いも含めて、この3月に皆さまのところへヒヤリング・アンケートを取らせていただきますのでご協力をお願い致します。エリアの状況で知りたい傾向などあればお聞き下さい。

八幡平DMOのミッションにビジョンは... ※地域が主体となる **核く観光産業の仕組** **みづくりのサポーター** **観光マーケティング** 手法による戦略策定と施策の実行...でありました。



季節別・対象別のマーケティングを平行展開する必要があります。上図の外国人入り込みの月別/国別推移を見ると台湾の10月が吐き出しています。これは紅葉に合せた企画募集&オアガナイザー団体が動いた証で、今年このままの状態が長らくこの数字を落とす事になり、あるタイミングで対応策を検討する必要があります。その差異対策を国内で考える場合、エリアとしての詳細データは取れていません。

海外のメディアからの注目商品は...

■訪日外国人個人旅行 2019年度には、海外のネットエージェンツやメディアを通じて八幡平の象徴的なアクティビティを商品として展開する目標がありました。台湾・香港・シンガポールのアジア圏に加え、イギリス・フランスなどの欧州からの取材もあり、イワユル物見遊山とは異なる八幡平の魅力打ち出す事が出来ました。一般のファムトリップは駆け足で回ります。今回は少し時間をかけて「地域の誇りを体験」していただくようにセッティングし、その分印象深く、高評価をいただきました。



- 特に印象的なものは (1)アドベンチャー部門 *七滝の水瀑 スノーシュートレック アジア圏の皆さまにとって、雪のブナ林の歩く体験は超日常であり、急坂の尻滑りも含めてすべてがイベント、目的地の水瀑の迫力、1号モビルでの復路送迎のサブライズ迄、八幡平らしさの完成度高まりました。ランチなどを加えることで更に磨ける感触です。
- (2)自然との共生部門 *大地の再生 焼走り熔岩流はこれ迄も観光スポットでした。海外向けにルーテンス農場での大地再生のお話を加えました。新ストーブのお部屋で手作りケーキをいただくホッとする企画です。
- (3)カストロノミー部門 *酒蔵見学と玉割りに在り、蔵見学と醸造家の解説を受けるから割り水によるお酒の性格の変化に驚きの声が続きます。

■森の湯の営業再開 八幡平温泉郷の森の湯は、修繕工事の休業しておりましたが、間もなく営業を再開します。森の湯は、かつて八幡平温泉郷並木新町商店街の中心的施設として機能しており、今後検討が進められるスノーリゾート形成事業のもう一本の柱「八幡平温泉郷のタウン化構想」でも、野沢温泉の「大湯」の様な役割をこなして来る施設です。ファミリー向けのパノラマ・コア層向けの下倉スキー場の町下町として、温泉郷エリアにもう一度灯がともるよう、ひと役かかってまいります。

■泊食分離への対応 海外からの長期滞在者にはBoat & Breakfastが中心ですが、温泉郷内の飲食店は少なく、宿泊施設からも受け入れ整備の要望が出ています。また夕食対応が無ければ対応がし易いとの声も民宿ベンションさんらから挙がってきています。3月19日には、東北DC&スノーリゾートの協議会も発足します。国内/国外の視点、個人/団体の視点など、民間投資が伴うエリアの課題について、官民で事業構想を協議・検討を行い、先行トライアルする事業者さんを支え、スノーリゾート形成へアプローチ出来ればと思います。

- ### 事業構想の展開
- 訪日外国人について言えば、八幡平の季節特性とマーケットニーズ、一時交通の課題も踏まえて、地域としての指針を示すタイミングにきました。特に、今回の様な感染症の問題を含めたりスク対応も視野に入れる必要もあります。
- 3月19日には、東北DC&スノーリゾートの協議会も発足します。国内/国外の視点、個人/団体の視点など、民間投資が伴うエリアの課題について、官民で事業構想を協議・検討を行い、先行トライアルする事業者さんを支え、スノーリゾート形成へアプローチ出来ればと思います。



■国内の在り方について 2月20日、国立公園満喫プロジェクトの一環として、Dアトキンソンさんが視察に見え、焼走り熔岩流など公園内の案内の多言語化の状況確認、ビジュアルセンターでの意見交換がされました。その中でいくつかの表の指摘もありました。が、看板の記載内容について、EcoBank/Mapで判る様な表記は望みません、此処がどの様な場

今後、様々な救済措置が動くと思われます。資金繰りの件 売上が急激に減った等の事情を、概ね纏めていただき、**商工会の本所・支所の窓口にご相談下さい。**

■確定申告関係 2月27日、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、*申告所得税(及び復興特別所得税)、*贈与税及び個人事業者の消費税(及び地方消費税)の申告期限、納付期限について、*令和2年4月16日迄延長となりました。併い、申告所得税及び個人の消費税の振替納税をご利用されている方の振替日についても、延長することとしております。

新型コロナウイルス感染症で影響を受ける事業者の皆様へ

資金繰り 5,000円程度で徹底的に支援

設備投資・販路開拓 サラフェーションの毀損等にも対応

経営環境の整備 相談窓口の設置等で経営を下支え

3月19日には、東北DC&スノーリゾートの協議会も発足します。国内/国外の視点、個人/団体の視点など、民間投資が伴うエリアの課題について、官民で事業構想を協議・検討を行い、先行トライアルする事業者さんを支え、スノーリゾート形成へアプローチ出来ればと思います。